

あらかわですくすく子育て

区は、子育てにやさしいまちづくりのために、地域・家庭・区をつなぐ子育て支援を進めています。今号では、さまざまな区の取り組みを紹介します。

保育施設・環境の整備

4月に定員63人のポポラー東京東日暮里園（東日暮里6丁目）と、定員150人の町屋保育園（町屋1丁目）を開設しました。6月には西日暮里1丁目では新たなグループ型家庭的保育を実施し、11月には東尾久1丁目に定員90人の私立認可保育園を開設する予定です。

また、平成28年4月に至誠会第二保育園が、東尾久5丁目の区有地に移転し、定員を増やすなど、今後も保育定員の拡大に努めていきます。



▲保育施設を整備し、皆さんが子育てしやすい環境づくりを進めています

問合せ 保育課 ☎内線3821

子ども家庭支援センター

育児の不安や子どもの生活についての悩みなど、子どもと家庭に関するあらゆる相談を受け付けています。また、児童虐待などから子どもを守るため、関係機関と連携を取り、支援を行っています。

開所日 (月)～(金)

※祝日を除く

時間

午前8時30分～午後5時15分

問合せ 子ども家庭支援センター ☎(3805)5523



▲子ども家庭支援センター子育て交流サロンの様子

●子ども家庭支援センター 子育て交流サロン

親子の遊びや、子育ての相談、友達づくりなどの場所として、サロンを開設しています。

時間 午前9時～午後5時

※正午～午後1時を除く

■4月から、一時預かりも行っていきます
(2面「②在宅の子育て家庭への支援」参照)

●安心子育て訪問事業

家事・育児支援や傾聴などを行う地域のボランティア団体と区が連携し、育児不安を抱える家庭を支援しています。

●子どもの虐待防止など

子どもと家庭に関する総合相談や、児童虐待予防講演会、自分に合った子育て方法を学ぶグループミーティング、児童・生徒向けの虐待防止啓発リーフレットの作成・配布のほか、ショートステイなどの育児支援サービス、養育家庭（里親制度）の普及・啓発などを行っています。

また、関係機関と連携して、虐待などの深刻な状況に置かれている要保護児への対応などを行っています。

●あらかわキッズ・マザーズコール24 対象を18歳未満までに拡大

妊娠中や育児についての相談を、24時間365日で看護師資格を持った専任スタッフがお答えします。また、要望に応じて、医師や臨床心理士などにつながります。

対象

区内在住で、妊娠中の方や18歳未満までのお子さんがある保護者

フリーダイヤル

☎0120(536)883

※携帯電話からも利用できます

荒川区子ども・子育て支援計画を策定

今後5年間の教育・保育サービスや出産前から就学後までの子育て支援施策を盛り込んでいます。計画の策定にあたり、2月12日～26日にパブリックコメントを実施し、その結果29人の方から59件のご意見をいただきました。

※計画の全文とパブリックコメントの実施結果は、荒川区ホームページ・区役所2階情報提供コーナーで閲覧できます

問合せ 子育て支援課 ☎内線3811

▶子どもの笑顔のために

平成27年3月、荒川区は「すべての子どもが一人ひとりが健やかで心豊かに成長してほしい」との願いを込め、「あらかわ子ども・子育て支援計画」を策定しました。計画では子ども・子育て支援新制度に対応するとともに、多様な保健サービスも提供や保育園の待機児童解消、在宅育児支援、放課後の安全な居場所の整備など、区の取り組みを一層充実することとしています。今後、区はこの計画に基づき「子どもの最善の利益」の実現を目指し、さまざまな施策を行ってまいります。平成27年4月に私立認可保育園を2園開設し、引き続き保育定員の拡大に努めるほか、新たに3校で「ここすくーる」を開設し、学童クラブと共通の体験プログラムを充実する「放課後子ども総合プラン」を試行実施します。さらに、子育て中の母親の「いい母プレッシャー」軽減のため24時間365日対応の「あらかわキッズコール24」の対象を18歳未満まで拡大し、「あらかわキッズ・マザーズコール24」として充実するなどの取り組みを実施します。子どもは未来社会の守護者であり、明日を支える宝です。区は「みんなを支えたい。未来への夢と希望に笑顔であふれた子どもたちの笑顔を目指し、子育て支援策の一層の充実に努めてまいります。」



荒川区長・特別区長協会会長
にしかわ たいいちろう
西川 太一郎